

SDGs～持続可能な取組～



広げよう！みんなで目指すSDGs～未来に残したい環境づくり～

檀原市立真菅小学校

6年

総合的な学習の時間

めあて

日本の海（海岸）は、実際どのような状況なのかを調査し、改めて「海の豊かさ」を守るために、自分たちに何ができるのかを考えよう

【活動に至った経緯】

5年生の時にSDGsの17の目標からそれぞれが興味・関心をもったものを選び、日本や世界の現状を知り、自分たちに何ができるのかを深く考えた。さらには、調べたことや考えたことなどを発信するためにニュース番組を制作した。今年度は、修学旅行の時に和歌山の海岸で清掃活動することを取り入れ、より体験的で実践可能な取り組みを見出すために活動を計画した。

【活動計画】

- ①5年生の活動を振り返る
- ②修学旅行での海岸清掃に向けて海洋資源問題について調べ学習をする。（夏休みの課題）
- ③修学旅行で海岸清掃を行い、集めたゴミを持ち帰る。
- ④集めたゴミを分別し、ごみの中にマイクロプラスチックがないか調べる。
- ⑤調べ学習や海岸清掃、ゴミ分別や調査などの活動から、自分たちにできる活動を考える。
- ⑥自分たちにできる活動を実践する。
- ⑦自分たちにできる活動を振り返る。

【実際の活動】

活動の計画④のゴミの分別・マイクロプラスチック調査

○ゴミの分別では、プラスチック製のものが多く見つかった。釣り具も多く、その中には、海外から流れ着いたものもあった。

○マイクロプラスチック調査は、流木や釣り糸などを水洗いし、細かな目のふるいにかけて残ったものを顕微鏡で見た。



ふるいにかけて残ったもの



残ったものを天日干した



発見したマイクロプラスチック

○学校の掲示板（全校に発信するためのコーナーを設置）



活動計画⑤⑥の自分たちにできる活動計画と実践（児童の意見を反映させて実践した）

- 学年で、地域の清掃活動を行った。
- それぞれの班で活動を考えて取り組んだ。
（活動例）・ペットボトル回収活動
 - ・ごみ問題啓発ポスターの作成
 - ・ペットボトルキャップアート



活動計画⑦の活動の振り返り（児童の感想）

- これからゴミをなるべく出さないようにしていきたいと思います。具体的には、エコバッグの持参、詰め替え用などの商品を買うことです。また、リサイクルやリユースにも取り組んでいきたいです。
- 学校での学習だけでなく、家庭でもできることは取り組んでいきます。
- 限りある資源は大切に使い、ゴミはきちんと分別し、再利用できるものは、リサイクルに出していきたいと思います。

【成果と課題】

5年生の時は、図書やインターネットを活用して必要な資料を集め、まとめて発信することにとどまっていた。しかし、今年度は、海岸清掃やゴミ調査などを行うことで、より体験的な活動を通してゴミ問題に向き合うことができた。子どもたちから出てきた意見や考えも、より実践的なものが多く、しっかりと考えていることが分かった。また、活動が終わっても、学校や家庭での活動が持続していることが何よりも嬉しく思う。

SDGsには、17の目標があるので、今回の活動を自信につなげて、他の目標にもチャレンジしていきたい。しかし、目標の中には小学校の学習の場では難しい目標もあり、取り組むには限界がある。学年の実態などを考慮しながら、教員が与える学習ではなく、児童自らが進んで学び、考え・発信する学習に繋げていくために、しっかりと活動計画を練る必要がある。